



走れ 走れ

スクールバス

瓶岩小学校が久礼田小学校に統合したときから、待ちに待っていたスクールバスが走りだして2ヵ月。いま、行き一便、帰り二便を才谷、宍崎、亀岩、外山、成合、天行寺の子供たち約50人が利用。「乗りかえがなくなったので大変よい」と子供たちに好評だ。

今までバスの定期券を配付していたが、乗り換えが多く、待ち時間が長くその間危険だ——などから実望が急がれていただけに父兄からも喜ばれている。

先生は「運転手の方が親切でよく気をつかってくれる。なんといつても安全になったのがいい」と安心している。

また、子供たちは「帰りの便は3時半を増便してほしい。領石でたのまれた買物ができなくなった」など、注文もボツボツ。

走れ、走れ、スクールバス。今日も子供たちの明るい笑顔を乗せて走る。



体育を生きがいとして

中沢正一先生に

体育功労賞

「私は体育を自分の生きがいとして一生生きてきた。体育によつて自分が支えられてきたという喜びがある」大篠小学校長の中沢正一先生(59歳)が、さる十月九日、昭和五十年度体育功労賞で全国表彰されました。

これは、体育の普及振興に尽してきた人に贈られるもので、市では利岡亮先生(市体育協会会長)に統いて二人目。

戦後の混亂期に若者に希望をと育協会の発足の記念事業としての各種のスポーツ大会を開催、市体

騒伝大会を今まで継続、市内五キロ・十キロロードレースを創設し中沢賞を設けるなど業績も数多く、戦前戦後を通じて学校体育ひいては社会体育に入ってきたことが今回の表彰になつたものです。

中沢先生は自分で海南中学時代にハイジャンプの記録を持つ

浜口真美子(立田)

橋田澄(里改田)

■特賞一千円

浜口真美子(立田)

橋田澄(里改田)